

# 教員としての資質の向上に関する指標

育成指標とは、教員等が研修を通じて資質の向上を図る際の目安とすると共に、更に高度な段階を目指す手掛かりとなるものです。教育センターにおいても、毎回の研修開始時に、研修のねらいと共に関連する指標を示しています。

なお、管理職の育成指標については、右のQRコードからご覧いただけます。



3領域	10項目	番号	内 容
使命感や責任感・教育的愛情	教職に対する責任感	1	うまくいかないことがあっても、あきらめず前向きに対応し続けることができる。
		2	教育公務員として服務規律（不祥事防止、コンプライアンス）を遵守し、規範意識をもって職務に専念することができる。
		3	自己の考えのみで判断せず管理職や同僚の話や聞きなど、客観的な情報に基づいた判断をすることができる。
	自主的に学び続ける力	4	管理職や同僚等の助言を謙虚に受け止め、自分を振り返り、自己の成長につなげることができる。
		5	常にチャレンジ精神や向上心を持ち、新たなことを取り入れるための研修に参加するなど自己研鑽に努めることができる。
		6	社会の動向に関心をもち、市の教育振興基本計画等（国や県の計画を含む）を踏まえて教育実践を行うことができる。
	教育的愛情	7	幼児、児童及び生徒に公平かつ受容的・共感的に関わり、子どもの行動の内面にある喜びや不安などを捉えることができる。
		8	常に幼児、児童及び生徒の状況を把握し、変化を捉え、子どもにとって何が最善かを踏まえ、個に応じた適切な働きかけを継続的に行うことができる。
専門職としての高度な知識・技能	専門的知識	9	書籍や研修等から今日的な教育の動向を把握し、専門的知識・技能を習得することができる。
	①子ども理解	10	幼児、児童及び生徒同士の関係や仲間集団を把握し、よりよい人間関係づくりや集団づくりに取り組むことができる。
		11	幼児、児童及び生徒一人一人の心身の特性や状況、生活環境などを多面的に捉え、個に応じた指導・支援を行うことができる。
		12	自尊感情を育むための手立てについて理解し、幼児、児童及び生徒の自己肯定感を高める取組を行うことができる。
		13	個々の生徒指導上の課題について、その予防・解決に向けた適切な指導・支援を行うことができる。
	②生徒指導	14	不登校やいじめなどの教育課題について理解し、その予防・解決に取り組むことができる。
		15	幼児、児童及び生徒の特性やよさを認め、幼児、児童及び生徒が安心・安全に過ごせる温かい学級・ホームルームづくりに取り組むことができる。
	③学級づくり	16	学校教育目標を理解し、その実現に向けた学級経営案やホームルーム計画を立てることができる。
		17	教職員や家庭・地域と連携しながら、開かれた学級・ホームルーム経営を進めることができる。
		18	幼児、児童及び生徒一人一人の特性やよさを見取り、学校生活や学習に対する意欲や興味・関心を引き出すことができる。
	④授業づくり	19	年間指導計画に位置付けられている教材の価値を捉え、教材研究を行うことができる。
		20	学習指導要領等と幼児、児童及び生徒の実態を踏まえ、学習指導案等を作成することができる。
		21	発問や板書、机間指導を効果的に用いて、授業のねらいに応じた指導を行うことができる。

3領域	10項目	番号	内 容
専門職としての高度な知識・技能	確実に実践できる力	22	学習指導案や日々の授業計画等に基づき、授業を実践することができる。
		23	学校目標を踏まえ、具体的な教育活動を示した年間指導計画を作成することができる。
		24	授業の見方・観点について理解し、自他の授業分析から目標の達成に向けた授業を実践することができる。
		25	学習評価の在り方を理解し、評価標準を用いて幼児、児童及び生徒の学習状況を把握することができる。
		26	同僚の授業を参観し、そこから見える成果や課題を適切に評価し、自己の学びにつなげることができる。
		27	教科等における自校の課題を分析・考察し、学力の定着・向上に取り組むことができる。
	⑤課題解決	28	PDCAサイクルを生かした学習指導等について理解し、指導方法の工夫・改善を行うことができる。
		29	学校を取り巻く状況を把握・分析し、学校組織の課題を発見し、建設的に意見を述べるすることができる。
		30	探究型の学習、活用型の学習、協働学習等の新たな学びを取り入れた授業を実践することができる。
		31	自己のストレス解消法を見つけ、健康的な生活習慣を維持することができる。
総合的な人間力	豊かな人間性や社会性	32	言葉遣いやマナーなどの社会人としての常識を身に付けた対応をすることができる。
		33	スケジュール管理に努め、時間や提出期限等を守ることができる。
		34	人権尊重の精神を理解し、多様な価値観を尊重しながら自らの人権意識を高めることができる。
		35	幼児、児童及び生徒との人間関係の重要性を理解し、積極的にコミュニケーションを図ることができる。
	コミュニケーション能力	36	悩みや困ったことが生じた場合等も含め日常的に、管理職や同僚に相談したり進捗状況を報告したりすることができる。
		37	同僚の教育実践について、学び合う意識をもって助言することができる。
	チームで対応できる力	38	同僚の特性やよさを見取り、それらを生かしたよりよい「チーム学校」づくりに貢献することができる。
		39	「チーム学校」の一員として自己の役割を自覚し、全体を俯瞰しつつ学校運営に貢献することができる。
		40	現状にとどまることなく、よりよい「チーム学校」づくりや問題解決に向けて対応することができる。
		41	地域の教育資源の情報収集を行い、日々の教育活動に生かすことができる。
	地域や社会の多様な組織等と連携・協働できる力	42	ホームページや学校だより等による学校の情報発信に積極的に貢献することができる。
		43	学年・学校内での共通認識のもと、児童療育センター、警察等、外部の専門機関と連携を図ることができる。

## 受講に際して

### 実施要項

各研修の「実施要項」は、教育センターWebページに掲載しています。随時更新されますので受講前に「開始時刻」「研修会場」「持参物」を必ずご確認ください。

### 名札着用

研修受講の際には、日常業務において着用している名札を持参してください。ない場合は、研修会場に準備してある名札に記名し、着用してください。

### 交通安全

教育センターを利用される際、自動車やバイク等でお越しの場合は安全な運転を心がけてください。特に7、8月は一日の研修者数が大幅に増えることから、9時の研修開始前及び16時45分の研修終了後の交通量が格段に増加します。については、地域の方や登下校中の児童生徒が危険を感じることはないよう運転マナーにご配慮ください。

### 昼食

昼食が必要な研修については弁当販売を次の時間で行います。  
【弁当注文】  
8:30～9:00  
【弁当販売】事務室前  
12:00～12:30

## 広島市教育センター

〒732-0068 広島市東区牛田新町一丁目17番1号  
Tel (082) 223-3563 Fax (082) 223-3580 E-mail:center@e.city.hiroshima.jp  
内部URL : http://10.91.11.102/  
外部URL : http://www.center.edu.city.hiroshima.jp/



「広島市教育センターfacebookページ」  
研修の様子等を随時掲載しています。  
どうぞご覧ください。